
カオスにも程がある大破壊後

折れた砲塔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

力オスにも程がある大破壊後

【NZコード】

N1350Y

【作者名】

折れた砲塔

【あらすじ】

大破壊後の世界で集落に引きこもりながら生活する。偶に外に出てもやつぱり車の中に引きこもる。そんな一人の転生者の生活録です。

かなり不定期かつ駄文です。

一話目（前書き）

やつて見たかつたから投稿。
後の黒歴史である。

「おひ、おつさん。今日のお勧めは鶏肉かい？」

「悪いな、今田は魚料理なんだ。トレーダーが珍しいの持ってきてくれてね」

「うーん、汚染合成肉じゃないから良いんだけど、余り酒には合わねえんだよな。偶には汚染されていない鳥がジマリで食べてえな」

「今日は無いナビ明日なら用意できるよ。全へ、この世界での最大の贅沢を軽く言ってくれるな。まあ、そんな事も言えるのもアンタ等が守ってくれる地下プランター様様だよな」

「全くだーお陰でやつ甲斐のある仕事も有るしな。ハッハッハ」

「精々俺と地下プラントをシッカリ守ってくれよ。その為ならお通し位タダで出してやるからな」

「安心しろい、衣食住確りあるこの仕事は氣に入っているんだ。俺だけでなく仲間も皆同じ気持ちだぜ。だからぶつとびハイも序でにタダで出してくれよ」

「余り調子にのるなまったく。まあ今日は守つてくれたしつと、ほりよ焼きアメーバだ」

「お、太っ腹だねー。」じゅお勧めは相当いいもんだな、期待し

てるぜ」

マスター生活も随分と板についてきた気がするなー。

この狂った世界に送り出されてもうすぐ一年、最初はどうなることかと思ったが今は随分と馴染んできた様な気がする。

運送中に事故で崖から転落をし、死を実感して「ああ、次の人生

は健康な体に成りたい」と思いながら意識を失い……

気が付いたら素っ裸でカプセルの中に横たわってた。

最近の医療技術スゲエーとか思いながらこいつからどうやって出るんだと悩んでいたら、突然カプセルが開いた。とりあえず外に出て下着を探したら、部屋には大型のパネルとコンソール、それに手書きのノートが一冊あるだけだった。

下着が欲しくてナースコールしようと思つたらそれらしいのは存在しない。ベットの中か?とまたカプセルの中に入ると突然閉まりだし、いい歳したおっさんが裸で喚くという新しい黒歴史を生産するハプニングにも見舞われたが、とりあえずシーツを体に巻き裸か

らは脱却した。

外に出ようにも扉はロックされたままなので出れないし、そのうち誰か気付くと思い手書きのノートを見てみた。ノートの中身はなんというか……「ありえねー、嘘だろオイ」と読みながら何度も連呼したか解らないほどの内容だった。

曰く、神様のミスで殺した事。転生しか方法がなく別の世界へ送つた事。強い体を望んでいたから該当するモノにした事。特典として生きられる環境の所に送つた事。忙しいのでこの形式を取つたと。この世界の事。今の状況の事。

まあ、死んでしまった事は諦めるとして、健康体も望んでいたからむしろ有り難い。とりあえずいじり方が頭に入っていたのでコンソールをいじつて見ていたら、おっそろしい者が見えたのと同時にこの世界が解かつたよ。しつかしなあ、いくらなんでもこの世界は無いよ神様……なんでよりによつてこの世界なんだ……

なんでメタルマックスのゴメス山賊団やバイアス・グラッブラーとクラン・コールドブラッド、それにメタルサーガのGORO'sとミコート族が一緒にヒヤツハー！！やつてんだよ！！

メタルマックスとメタルサーガが一緒になった世界ってカオスにも程があるだろオイ！！

絶対に第一の人生は早死確定だよ！－誰か助けて下さい－！

一話目（前書き）

昨日投稿して又投稿。

ネタは有つても文才は無い。

メタルマックスは略称MM、MM²、MM³

メタルサーバは略称MS、MS²、MSNFで行きます。

「この世界で生きられる自信が全くねえよ…」

外の映像を確認して改めて思った。いや、なんで敵方集団の混成部隊が形成されてるのかもわからんねえけど、よりによつて襲つているのが賞金首扱いだつたスナザメ（MM2・3）やインペイラー（MSN-F）の群れなんてお前等強過ぎるだろ！…つて突っ込んじまつたし。

とりあえず神様が書いたノートを再度読みなおして今の状況を確認したところ、今いる施設内なら安全であるとの事なのでコンソールを又いじくつて、この世界の事や周辺状況を確認して見る。

メタルマックスやメタルサーダガの世界ならばアレがいるのかの確認しないといけないだろうと、まず始めに今までの世界情報の記録を見てみた。

記録によるところの施設はノアシステムに汚染されていないことが確認され、またノアの反応も無いことが判明した。つまりMM1よりは後の世界だということが解かつた。とりあえず施設の暴走は無いものと思われる。

良かつたー、本当に良かつたよー。ノアシステムに汚染されてそのまま抹殺されたなんてせつかく命拾ったのに意味ないし。

次に現在位置と地図の確認を行つた。現在はビルの地下深くに有

る生産プラントの中央管理室らしき。どうやら神様の特典で作られた原作には無い施設であるという事らしい。ヘルプの項目に神様からの文章書きが入っていた。他にも神様謹製の施設が複数有ると事らしいが外の世界がヤバイので此処から出る気はなく、とりあえずほっとく事にした。

世界地図は全部表示されているのではなかつたが、一部表示でも施設周辺や他の地域も確認できた。どうやら MM3 の川から西側と北側しか表示されないが、46 億年タートルトレーダー西の廃墟群のビル地下が今の位置らしい。つて合わせただけで画像が出るつてしまひ。

他の地域も確認出来ないか弄つてみたところなんか見たこと無い施設を発見、マップ北西のデスベガスより北に橋が掛かっている。確かここが北限だからなんかおかしいとマップを更に北に合わせて確認してみた所、MM で見たこと無い地形が見られたつて……

なんで MSNF のグレートウォールに繋がってるの？しかも賞金首のシルバーボア（MSNF）が群れでハンター襲つてるし……

あ、戦車吹っ飛んだ。

本当にこの世界はヤバイわ、どうせつてこれから生活しよう。

とりあえず現在の状況と位置は確認したから、次は周辺の確認と施設を調べ終わってから考えるか。あと服も探さないと。

二話目（前書き）

3日連続投稿。

明日は夜勤だから投稿出来無い。

文才と記憶力が欲しい。

主人公の名前は少し先。

携帯のMSはやってないので登場しない予定。

「アレはハンターが哀れすぎるわ……」

映像を見てしみじみと思つた。戦車つて山なりに吹つ飛ぶものなんだつて……

いやオカシイよね！！絶対おかしいよ。何十トンも有るMBTが山なりに飛んで行くなんてありえねえよ！

绝望感を増加させた世界地図の確認作業を終わらせてから一息ついて、嫌な予感がすつごにするけど周囲の状況を確認に入ろう。そうしないとこれから先のことも考えられないし。

グレートウォールに合わせていたカーソルを現在位置周辺に合わせて様子見する。ビルの廃墟が立ち並んでいるが、確かこの廃墟つて唯の瓦礫群だった気がするけどまあいいや、どうせ神様特典なんだと気にしない方向で行く。

一棟のみ単独で建つてゐる施設が入つてゐるこのビル周辺にモンスターは今は居ない。次に比較的ビルの痕跡が残つてゐる向かいのビルを確認する。上部の崩れてる部分にていたつてFO（MM、MM2、MM3）が3体ほど居るが他は見られない。

なんだ余りいないじゃん、ていかつてFOならすぐ逃げるし問題

なこじやん、と思いつつ向かいのビルの左側の瓦礫に会わせてみた。

「ん、さっきの気持ちを返してくれ……

スローウォーカー（ＭＭ３）が十体くらいで日向ぼっこ中でやんの。あと名前忘れたけど掃除機と蛇の間の子（バキュームマンバ　ＭＭ３）が五体位寝てるし、更にびんかんバー（ＭＳ）がびんかんバー（ＭＭ２）に跨つて複数走る回つて居やがる。こりゃ真の意味で裸一貫装備無しの俺は外には出れんな。

といつあえず外に出る考えは放棄して、今現在居る施設について調べよう。

生産プラントで有ることはさつき軽く調べて分かったけど、具体的に何を作つているのかも調べないといけないな、それに中央管理室内に有る物も調べないと。ということで何でかは解らないけど使用方法が頭に入つてるので調べてみた。

まずはプラントについて調べたけど、どうやらこの施設は食料品及び嗜好品生産プラントだつた。水、穀物、野菜、魚、食肉、調味料それに酒。更には戦闘糧食まで生産して有る。神様特典スゲエよこれ。しかも地下水の汚染除去もしているらしく食料に汚染が全く無し。

ノートに書いてあつた生きられる環境の所に送つたの理由が解かつたよ。

次にプラント内の就業員施設について調べる。どうやら中央管理室内のカプセルはサイバー・ウェア用調整力プセルとの事だ。つまり俺の体はサイバーウェアだということになる。設備の使用方法が解つたのも納得だしノートにあつた強い体つて言えばその通りなんだが、実際問題としてどれ位強いんだろう？賞金首のレッドフォックス（MS1）や仲間キャラのアルファ（MS1）と同じ体だけど、生産プラントに有るつて事は戦闘用じゃ無さそうだしなー。生前の喘息や食品アレルギーが無いだけでも有り難いんだけどね。

あと重要なのは従業員証といつかマスター登録といつべきアイテムの発見だつた。コンソールの脇にある腕時計型のBSコントローラーがそつららしいので登録して装着する。布巻きに腕時計という変態一步手前の格好だが、これで扉が開くし警備システムにも引っかかるなくなる。

そしてとりあえず中央管理システムを切り上げて、部屋から出ることにした。いや、服が欲しいのよホント。いい加減なんか服着たいし、警備システムも見てみたいしどうことで、やつとの思いで部屋から出た。んだが……やっぱこの施設もヤバイわ。

扉に賞金首の零九式安全神話（MS2）が組み込まれているわ口ボボリス（MM）が何体も歩いてるわですっげえ怖いよ！－

B5コントローラー外したら襲つて来るのかな……マスター登録
してるから大丈夫だよね？

不安だ……そして早く服が欲しい。

四話目（前書き）

お気に入り登録をしてくれた方や感想を書いてくださった豚角煮様、
このような駄文に懃々有難う御座います。

ネタか文章が頭から無くなるまでは頑張らせて頂きます。

夜勤の仮眠中に文章出し。
やはり文才が欲しい。
仮眠時間が無くなつた。
夜勤明けで眠いのに打込。
文章に不安が残る。

「襲ひてこないつて解つていてもやつぱ怖ええなー」

とりあえず中央監視室から出て就業員用施設の探索の為、廊下を歩いているんだが……後ろからは扉の上にある零九式安全神話（M52）の印が常に視線を合わせてるし、ロボポリス（MM）は違う時にチラ見してる感じに動くし、かなり心臓に悪い。

20m位歩いた所で扉発見、プレートに【生産プラント監視所】と書いてある。扉には零九式安全神話もきっちり組み込まれているしでやっぱ怖い。入るうかと思ったが先ずは服を探すことにして後回しに、又廊下を歩き出す。

今度は数分歩いて【就業員諸室】のプレートが書いてある扉を発見、扉を開けようとするが開かない。マスター登録したのに何で？と思ついたら扉の横にカードリーダー発見……

ICカード持つてない……

どうやら警備システムが組み込まれていない扉はカードキー式のセキュリティらしい。仕方ないので此処の扉を諦めて、警備室を探すこと。

この施設を歩いて思つたのだが、【就業員諸室】から扉も見当たらず分岐が無い、唯一本道の通路が続いてる。複雑に成つていいつことは有り難いのだが、防災上の理由なのかそれだけプラントが広いのか。広さだとすればかなり大規模な生産プラントだらう。

俺一人には持て余す施設だわ。

距離も解からない位歩いて、ロボポリスとも何十対とすれ違った所でようやくロボポリス以外の何かが見えた、どうやら新しい部屋らしき物だろう。やつと警備室かと思い近づいて行き、改めて警備の異常さを知ったよ。

セキュリティスフィア（MM3）一一体とゴーゴンホール（MM2）ぱっと見て30体程が受付っぽい前の通路で蠢いてるよ。

うん、ここ何処のラストダンジョンだよ？しかも警備室の先にエレベーター見えたけどどう見ても人間用だよ、戦車入れないでこの規模だと絶対に死ねる。BSコントローラーは絶対に外さない様にしよう。

受付が有るって事は、確認作業をする為の部屋が設置されているって事だろう。もしかすると此処が警備室か？結構歩いたなーと思つたんだが全く疲れていない。

おかしいなーと思いシーツの位置をずらしてみたが、よく考えて

触つてみると全く汗をかいていない。当たり前だわ、機械に組み変わっているんだから。しかし戦闘用じゃなさそうなサイバーウェアでもこれ位なんでも無いのは素直に感動した。幾らなんでも距離も解らない位歩けば足は疲れるだろうし、年齢的にも腰に負担がかかる為に肉体疲労がかなり来るし。こりや 戦闘用じゃなくても強い体だわ、なんか気分良くなってきただー。

そして考え方を終わらせて扉の前に立つ。扉のプレートに【警備監視室】の記載がある、しかもカードリーダーは無し。いよいよ歩き回つて下が擦れたシーツ巻きともオサラバだよ！…わくわくしながら扉を開けると

ヨーリンボーグ（MM3）が目の前に突っ立つてた。

うん、怖かったんだ。すっごく。

シーツ外れてるのもお構いなしで四つんばいで逃げて扉締めました。扉から出たところでセキュリティスフィアに睨まれたような感じでこっちは見てきました。素っ裸で何やってんだこいつ、って目で訴えてる感じでした。

「へタレで何が悪い！！『玄関開けたらヨーリンボーグ』なんて想像してねえし、あの面構えは怖いんだよ。

警備室入るの辞めようかな……シーツの加工を悩み始めた瞬間である。

五話目（前書き）

寝起きで投稿。

なぜか頭の中に浮かんだので投稿。

最後のモンスターは最初の転生候補

MSシリーズで5本の指に入る位好きな敵。

最後に現在装備記載。

「やつべえ……シーツ向こう側だ」

ヨージンボーグ（MM3）と田を合わせること無く、腰を抜かして黒歴史生産しながら廊下に戻り、セキュリティスフィア（MM3）とかの眼が無いのに侮蔑の視線を感じながら、スッポンポンで一人呟く。

このままでは裸のまま生活することになってしまふ、【就業員諸室】のカードキー探しも終わらないので、気合を入れて【警備監視室】に入る。

やつぱりヨージンボーグが扉の前に立つてました。しかし構えてるだけで攻撃の気配が無いので置物か何かだと頭の中で反芻して奥に進む。

【警備監視室】の中には監視用のパネル、操作用コンソール、壁にキーボックス、カーテンで区切られている区画にベット2台、ロツカーブ個、それにトイレにシャワールームと小さいながら倉庫と円筒型のカプセルっぽい何かと、部屋自体は【中央管理室】より一回り大きい部屋だった。

個人的に嬉しかった事はロツカーもそうだけじ、ベットが有る事だ。【中央管理室】のカプセルでは最初のパニックもあってか、此処では寝れそうにないと感じていたから非常に有り難い。何かしらの怪我と言つか体に損傷を受けたらあそこに行かなければいけなうだけ……

そしていよいよロッカーの搜索に入る。これで裸一貫からはオサラバだと楽しみながらロッカーを開けて、中身の確認に入る。

ロッカーの中には下着一式が3セット、警備員用制服上下、防弾ベスト一着、ブーツ型安全靴にスタンロッド一本、それにショットガンが一丁とホルスター付きのベルト、大きめのウエストポーチが入っていた。服はMM式に言うとトゥルーブルーとぼうだんチョックって所かなー、とりあえず着替えて裸からは脱却できたので良しとしよう。

ウエストポーチに履かなかつた下着一式を入れ、ホルスターにショットガンシェルと警棒を入れて防弾ベストを着こみ装備を終わらせる。一応他のロッカーを開けたが同じものが入つていたため今は持つて行かないで予備として置いておく。

警備用のパネルは現在も警備システムが作動中なので操作することはなく、システムについて調べる。ここに警備システムは所属警備兵とマスター登録したユニットか人物、又は此処のプラント所属のサイバーウェア以外の入館者を抹殺するシステムであるという。

物騒つてレベルじゃねーぞこれ、しかも俺がマスター登録しちまつたし、警備兵なんて居ないから俺一人以外は全員殺しますってことじゃねーか！！

いくら兵站生産箇所とはいえやりすぎにも程があるだろ。ノアより味方側を殺しそうなシステムだなおい。

警備システムはこれ異常調べても仕様が無いし、変更も不可能なので見るのは無くなつた。あとは壁についてるキー ボックス位か。

円筒型カプセルは調べても判らなかつたのでほつとく。キーボック
スに鍵は無くエコカードも此処しか無さうなので開けてみた。

ロツカーキーの束と透明ケースの中にカード発見。両方共取り出
してウエストポーチを開けた所

カプセルが開き、マイドガイ（MS）が腰に手を当てて登場して
きた。

何でか……しかも全く喋らないで仁王立ちしてゐるし……

神様は何がしたかつたんだんだ？わけわかんねえよ……

五話目（後書き）

現在の装備

武器

E : ショットガン

E : 電撃警棒

E :

頭

E : 無し

体

E : トゥルーブルー

腕

E : 無し

足

E : あんぜんぐつ

プロテクター

E : ぼうだんチョッキ

道具

B5コントローラー おやじのパンツ?
ロッカーキーの束 ICカード(プラント)

六話目（前書き）

仕事中に考えてみた。

次の仕事も探さないと行けないのに。

やはり文才が欲しい。

マイトガイの立ち位置悩んでます。

適当に決まるんだろうけど。

「……いや、何か喋ってくれ」

「王立ちから動いて倉庫に向っていいマイトイガイ（MS）に対する率直な感想だった。

しかしなあ、俺の知ってるマイトイガイとは少し違うんだよな。ま
ず喋らないし、頭の爆薬も導火線なのかコードかは解らないが一本
に分岐していく、その先にボタンが着いてる。アレはかなり危険だ
ろ！しかも癖なのか左右に着いてるボタンの上をよく搔いてる。
やっぱ自爆ボタンなんか？

少なくとも近づいたら巻き込まれて爆死確定だらうな、倉庫に行
つてる間にさと逃げ出す事にしよう。何か倉庫でゴソゴソ探し
てるし、今ならいけるだろ。

【警備監視室】から出て【就業員諸室】に戻り始めるとなぜか後
ろにぴったり付いてきやがった。つて何でERAシールド構えたま
ままで付いて来てるの？しかもなんかシールドに+3とか書いてある
し。

いつもが振り向くとシールドに隠れるし、歩き出すとちょこちょ
こと付いて来る。付いて来るのが小動物とかなり萌えて可愛いんだ
ろうけど、ムキムキマッチョの爆弾頭が爆発反応装甲をこしげに向
けて歩いても恐怖心しか出ねえよ。

つか、おかしいだろコレ。どう考へても不審者にも程があるだろ。

今までの警備は全部マシーン系で統一されてるのに、いつだけ正体不明だらうに。いや、実際、種族も正体不明だけじゃ。此処の警備システムは実はお飾りなのか？

悩みながら歩き続けて、後ろの物騒すぎるマイトイガイも来なくていいのに付いて来て、【就業員諸室】の前に立つ。ん？ そう言えればカードキーは一枚しかなかつたよな……此處でカードキーを使って開けたあと、即座に閉めればこいつ入つてこれないじゃん！！

でも開けた後にアイツも直ぐに入りそんなんだよなー、どうしよう……そうだ、アイツはシールド構えて接近してくるから、ショットガンをぶっぱなして怯んだ所でドアを閉めればいけるはず。大丈夫だ、きっといける。ショットガンを撃てば何でも解決する。其れが今のは俺の考えだ！！

意を決して【就業員諸室】カードキーを開けて入る。

すぐさま振り返つてショットガンを構える。

そしてシールドに、つてあれ？ アイツいねーじゃん。

後ろでまだちょこちょこ付いて来てる最中だった……意気込んだ意味ねえー。

まずは扉を閉めよう。あの超危険物質の塊とずっと歩いて精神ガリガリ削られてたんだよねー。これで安心できるぜ。落ち着いたら【就業員諸室】内の探索に入ろう。どうやらここはオフィスと応接間、それにロッカールーム、シャワールーム、トイレ、小さいながらもキッチンまでついてるかなり広い部屋に成ってるし、相当時間がかかるだろう。

まずはオフィス部の書類等の探索だが、碌なのがない。生産品目だ警備状況だのコンソールで調べた物や頭に入ってる内容のみで役に立たない。バインダーがあつたから将来は裏紙でメモ用紙確定だな。

次は応接間の探索だが、柔らかく座り心地のいいソファーが机を挟んで対面で置いてあるだけだった。そして机の上にダンボールが一箱。開けて見ることにするが、なんと自衛隊のカンメシこと戦闘糧食I型が満載に入ってるじゃないか！！

初食事ゲットに心躍り缶切りを探してダンボールのカンメシを机の上に開けていると、突然入り口の扉が開いた。

まさかアイツ開けられたのか?と思い手にカンメシを持ったまま入口に向かうと、其処にはやはり居たよ……あの危険なマイトガイが。

しかも腕組みして立つて動かないし。何で入れたのか聞こいつとした
らいキナリ動き出して……

「……………あ、俺タクアン缶嫌いだから他のヨコヤ。」

あ、あ、ん、今何言いやがったコイツ。俺の好物侮辱したんか。

しかも第一声が其れか「うーーー」ととりあえず殴りつ。うん、話は其
れが終わってからだな。

六話目（後書き）

ERAシールド（MSN-F）

金属盾に爆発反応装甲（Explosive Reactive Armour）をつけたもの。

ソルジャー用装備だが +3まで合成強化すると装備制限解放されて全職装備可能。

七話目（前書き）

風邪引きました。
しかも夜勤も重なつた。
文才がほんとに欲しい!
そろそろ話を進めたい。
長文が書けない。

「はあ……なんでこうなったんだ」

現在、俺は対面に向き合ってカシメシをオカズにカンパンを食り食つてゐる正体不明の物体を前に、どうしてこうなったかの確認をしようと。

「てめエ……第一声が俺の好物を侮辱するとはどう言つ事だよ」

「いや、だつてあれしょっぱい。しかも野菜だし、俺穀物以外食いたくナイス」

「つーかさー、何で声掛けた時喋んなかったんだよ?」

「え、めんどうかった、喋るのダルイ」

最後の一言でイラつて來たので取りあえず攻撃をしようと思う。しかし頭に謎のボタンが2箇所もある上に、現在大事なカンメシを両手に持つてゐる状態では碌に攻撃が出来ない。

悩んだ末に脛を蹴る。軽くとはいへ安全ブーツの脛蹴りはかなり効くだら。あ、なんか体制崩した、効いてる効いてると思ったら同じ行動をやり返してきやがった。

「何すんだよ、痛いじゃねえか」

「先にやったのお前ダロ」

「……お前が悪いだろ」

「お前ダロ」

「…………」

その後無言でお互いの脛を蹴りあうとこいつ子供のケンカみたいな
のを暫く繰り返してから……互いに痛みが余り無い感じな為休戦し
て、このまま何もしないで立つていても仕方ないので、応接間まで
行つてソファーに座り飯を食べながら話し合つことにしようとしたら、
箱の中のカンパン食べまくつて喋りやしねえ。

俺は確認の為と、こ飯が食べたい為に室内のキッチンへと向かつ
てお湯の順備をする事に。

「あ、俺の分のこ飯も湯煎しといてクレヤ」

すうすうしきいこの爆弾頭。そんないことよつての施設の就業員ス

ベースにライフラインが通つているか確認だしないとな。電気や給水が無いと生活なんて出来ないし。

キッチンに行き取り敢えず色々調べてみる。大型冷蔵庫一台に電気＆ガスコンロ、ステンレスシンク、給水給湯蛇口、其れに調理器具一式まで有る。冷蔵庫内は何も入っていなかつたのは残念だが、使用可能なだけで十分だわ。

給湯蛇口からお湯を出して鍋に入れ、カンメシを湯煎する。こうしないと食べれないしな。

十分温めたら取り出して応接間に持つて行き爆弾頭に渡す。なんかそわそわしてるし、缶切りすつごい勢いで探してよコイツ。まあいいや、俺もなんか食べよう。

そうして食事を済ませてから、目の前に居る爆弾頭と会話する予定だつたんだが……コイツ大いびき搔いて寝やがつた。しかも手を頭に当てる寝てるからボタン押しそうだし。

動かして爆発したら一巻の終わりなので、この危険物はほつといて残りのロッカールームの探索に入ろう。ロッカールームのロッカー全てに鍵が掛かっていたが、【警備監視室】のキーボックス内にあつた鍵束で全部開錠出来た。

ロッカー内にあつたのは道具中心で装備品は無く

回復ドリンク？10一箱
回復力カプセル？12一箱
エナジー カプセル？6一箱
オイホロカプセル1瓶約30個入

といった基本的な回復系アイテムが中心で、

其れ以外の道具は

ゲンキデルZ2本や
ヤらしいポスター5枚
ベースボールカード30枚
ハツモーダ2本
メカニックキット一箱

最後にわんわんグルメがなぜかロッカーにびっしりと詰まつたりと道具はかなり入っていた。

かき集めた道具はロッカールーム内のキャリーに乗つけて応接室に置いておく、今は使用することもないだろうし。

シャワールームやトイレスは調べる必要が無いのでほつとして【就業員諸室】の探索は終了。応接室の爆弾頭はそのまま放置して退室して、最後に【生産プラント監視所】に向かう。

【生産プラント監視所】に向かう最中に、又後ろから爆弾頭がERAシールド構えたまま付いて来るが無視だ無視、あれに関わるとめんどくさそうだし。

かなり歩いた所で【生産プラント監視所】に到着。警備システムが怖いけど、コンソールを操作して扉を開ける。マスター登録してから最初の入室の為、暫くお待ち下さいとの画像表示が。早く開いてくれ、アレが来ちまう。

爆弾頭が到着してから設定完了の表示が……遅いよ。どうせ入れないだろ?と思うのでDOOROPENに設定、設定したらスピーカーから合成音声が聞こえてきた。

「登録完了シマシタ、プラントマスター、プラント警備兵『マ・イトガイ』ノ入室ヲ認メマス」

お前警備兵だつたの!!しかも区切り其処なの?更に何で入れるんだよ!!!

ツツコニ疲れてきた.....俺も寝ようかな

四話目（後書き）

アイテムは名前から解りやすい道具を選んで見ました。

オイホロカプセル

これを服用すると痛みを感じなくせしむことが出来る。

八話目（前書き）

夜勤明けで再就職先確定
落ち着いたので投稿。

酒は友人と自分の酒棚の種類を全部。
最後のは自分の仕事のお気に入り。
チートっぽいの全部出せました。

「これは……凄過ぎる、如何しようと」

プラントのマスター登録も終わり、爆弾頭改め「マ・イドガイ」がまさかの警備兵だったのは吃驚したが、プラント監視所に入室してプラントを見て呆然とした。

中央監視室から警備室までかなりの距離が有つたので少しば想像していたけど、想像の範囲を軽くすっ飛ばした後景が広がっていた。

プラント全体は2階層で構成されて、監視所は上層にある全面透明のアクリルパネルの部屋になつていた。部屋には入口脇にリフトが設置して有り下層に降りれる仕組みになつており、入つて少し歩いた所にコンソールパネルが設置してあつた。

下層には農地が一面に広がつており、かなりの農地面積が有ると思われる。上層から見ただけでも作物が何品か見えるが、おそらくこれだけではないだろう。此処でカンメシを生産していたのなら、畜産や資源採集もやつているだろう。

此処から見てもどうなつてゐるかは把握出来ないだろうから、室内のコンソールを操作してみた。いや、もう驚きを通り越して呆れたよ。

先ず2階層だと思ったら実は4階層で、下にもう2層生産地があり、生産しているのでも各種穀物、野菜、果物に鳥、豚、牛、羊の畜産、それに魚も馴染み有る種類の養殖、さらに穀物や果物で酒の生産までしている。後は生産補助や梱包用の為に金属、紙、布、化学工業まで生産している一大生産プラントだった。

中央監視室で調べた情報だと食料生産プラントだったのに、細かく調べたら実は生活必需品全て作れるという巨大なプラントだったのには呆れるしかないわ。流石に生産補助品は素材が決められた状態でしか生産できないけど、布がそのままで出るだけで服が作れるし、うまく頭を使えば何でも出来そうだわ。

調べ物も終わり、最後にメニュー画面に戻ると一番下にマスター登録の項目発見。此処まできたらもう全部やつちまおう、ということでマスター登録をするとBSコントローラーから登録音が。BSコントローラーを使用すると、「プリントマスター全登録完了」の画面表示が。

新しく生産管理、倉庫管理、搬出管理の項目が追加されていた。どうやら態々此処まで来ないでもBSコントローラーで全部出来る様になつた様だ。と不意にずっと行動を見ていた「マ・イドガイ」が話しかけてきた。

「なあ、オマエ其れ倉庫見れるんダロ?」

なに行き成りと思つたが危険な奴なのでとりあえず答える」と

「じょ」。

「あ、ああ。倉庫管理の項目有るから見ると悪いけど」

「おオ！…んじゃ酒クレ酒。度数低いので良いカラッ！」

まいったな……生前は病気持ちの弱々体だったから呑んだ事無いんだよなー、食料運搬が生前の仕事だったから種類は解るけど度数なんか知らんし。酒の種類は品目見せてから渡すことにすればいいか。ついでに搬出場所も教われそつだしな。何よりシールド構えて寄つてくるから怖いんだよコイツ。

「まあ、マ・イトガイさんだけ？渡すのは良いけど、品目見せたら搬出先を教えてくれよ。この施設の地図なんか無いから解なんないんだよ」

「おお、任せロ。搬出口は警備奥のエレベーターで上がった所のベルトコンベアーから出るンダ。其処にBSコンで搬出管理の項目から搬出を選んだのが出るんダヨ。あとイトガイの呼捨てでいいゾ。酒をくれるなら保護対象としてもマスターとしても言つこと無いシナ」

「酒の話から急に饒舌になつたなお前。まあいいや、んじゃイトガイ表示ホログラムで出すぞ」

BSコントローラーで倉庫管理の項目から酒の項目を選んで表示する……表示した瞬間イトガイが謎の笑い声を発しやがった。

なんか隣でずっとグフェグフェグフェグフェ言つて怖すぎるんですけど……

酒品目一覧

葡萄酒

ワイン

ブランデー

グラッパ（粕取りブランデー）

サトウキビ

ライトラム（ゴールド、ホワイト）

ヘビーラム（ダーク）

カシャーサ

リンゴ

シードル

カルヴァードス

さつまいも

芋焼酎

そば

そば焼酎

米

日本酒

米焼酎

早苗饗焼酎（粕取焼酎）

大麦

エール

ビール
モルトウイスキー

トウモロコシ

ストレートバー・ボン

コーンリカー

ライ麦 小麦 大麦 馬鈴薯 甜菜

ウォトカ （スタリー・チナヤ）

スピリトウス

その他

他果実釀造酒

果実酒（梅酒等）

消毒用エタノール

無水アルコール

……多すぎねえかこれ？酒だけで品目有りすぎだろ。つか消毒用エタノールは酒じゃ無いだろどう考へても。

酒だけでこれだけの品目が有るとすると、他の食料品は一体何品有るのか解らんな。しかも加工品の項目が有ったから何百品目も有

りそだぞ。個数も4桁5桁がザラに有るから無くなる事も無い上に現在尚生産中と……

隣のイトガイから声が聞えなくなつたな、如何したんだ一体?と思つたらいきなり俺を俵持ちして部屋から出やがつた。しかもさつきとは比べ物にならない位の速さで走つてゐる。

「おい！何しやがる！いきなり如何したんだイトガイ」

「ヒヤツハ――！酒ダ――！アルコールが俺を呼んでるゼー」

「は？ つて早い早い！ つて首がガクガク逝つてゐるつて。速度落

「洒さえあれば爆発してもいい……いや、むしろ爆発させよ……！」
つてエレベーター来たナ」

「いやいやいやいや、爆発するなり酒だもんよ。つか上に上が
る心構えをせりや」「う」

と言つてゐる間にエレベーター到着、そのままカゴ内に投げ込まれた。イトガイも中に入り、ボタンを押して扉を締めエレベーターは上がつていった。ボタンはB1FとB2Fしか無い。つまり生産プラント内はプラント内のリフトで移動、従業員はこのエレベーター、んで残りは搬出時に使用するリフトつて所か？一本道だけど結構めんどくさい構造だ。

エレベーターに乗つて5分位経過してB1F到着。B2～B1間はかなり時間が懸かつた事から相当深く地下にプラントが在るのだろう、昔50階建の建物に商品搬送した時のエレベーターが其れ位だつた記憶が有るから100メートル以上は確定だな。

どうやら隣の危険物も落ち着いた様子で何よりだ。二人共エレベーターから降りて先に行こうとしているイトガイを止めて少し話をする。ホールと言うか個室状態に成つている為、此方が少し落ち着くためにも丁度良いし。

「なあイトガイ、この先はどうなってるんだ? 行つたこと無いから不安なんだが」

「あ、ここの先は搬出コンベアーと搬出口、ガレージで区画された先に地下駐車場と車用リフトが在るだけでビルの1フロアに成つてるだけダゾ」

「そ、うか、アリガトよ。あと警備システムはどうなってるんだ?」

「警備システムはB1Fまでが管理区分ダナ。ガレージ及び車用リフトはプラント従業者以外は使用出来ない様に成つてルゾ」

と言つことはまだ安全区画なんだな。よし、其れじゃイトガイもそわそわしてゐるし荷物搬出もやつてみたいしさつと行こうと扉を開けたら……嬉しくて俺が叫び声あげちまつた。

生前に最期まで乗っていた俺のトラック（いすゞ・エルフ5代目・低温冷凍車）が武器を装備して「ンベアー」の前に置いてあつたか
ひー！

アリガトーレ様。あの爆弾頭は要らんケド、これは最高のプレゼント
ントだぜ！！

車も装備も整つた。引きこもる準備は万端だな。

八話目（後書き）

車（戦車）の装備で悩んでます。
テクニカルだから主砲は無し……
物足りないか？

九話目（前書き）

一連休丸々使って作成。
文才がホントに欲しい。
今回でいよいよ危険区域に。
MMやMSらしさが出るよう努力します。

九話目

「唯の冷凍車なのにどうしてこうなった……」

目の前に在る仕事で使つてた車を調べて思わずつぶやいてしまつた。

俺のいすゞエルフ5代目を見て思わず叫んでしまい、イトガイもビビっていたがそんな事は無視してダッシュで駆け寄り運転席に向かつたが少しおかしい。荷台が大きく成つている、一回り位デカイのだ。荷台は一トンしか入らないのにこの大きさはおかしいと思いつつ、運転席に乗り込み確認作業をした。運転席には見たこと無いスナップスイッチが何個もあつたが、其れよりも運転席に置いてあつたバインダーに挟まっている書類を見て、起きてから何度もかもう解らない驚きで一杯だった。

書類の一枚目には車の装備スペック、二枚目には建物の構造、三枚目には文章が書いてあつたのだが一枚目でもう驚きと呆然どが同時に出了感じだつた。

車体

いすゞエルフ5代目低温冷凍車改（冷凍機不良）車体重量6.5t

エンジン

フノミナソ? 2 (搭載55t? 2) 重量0 · 01t? 2

コート

SOLOMON 2? 重量2 · 00t

武装

穴1 (運転席上部)スマッシュホルン超改造済 (重量4 · 68t)

穴2 (冷凍庫上部)アサルトレーザー超改造済 (重量17 · 16t)

穴3 (冷凍庫右側)ひばたんバルカン無改造品 (重量0 · 10t)

穴4 (冷凍庫左側)ひばたんバルカン無改造品 (重量0 · 10t)

なんじやこつや

.....搭載総重量110tで武装コミコミド30 · 56tって事は、残り全てで搭載すると搭載重量69 · 44t.....装甲6000足しても9t搭載可能、しかも武装は主砲を遙かに上回る副砲2門でおまけにバルカン2門。エンジンもそうだけどひばたんバルカンって有り得ない程の化物戦車に成ってるやこれ。

この車の装備は一応確認完了として、一枚目の書類を確認する。

この建物の構造が書いてあつたが、なんとも不安を抱く内容だつた。この建物は地下六階地上四階建ての装甲ビルでB1Fまでは完全管理されていたが、それ以降上層の1Fから4Fまでは基本管理区分外なので何もしていない。一階の車載リフトが在る一部区画は管理しているが、他の区画となるとかなり荒れていそうだ。

三枚目の書類は神様メモだつた。内容はこの体の詳細でやはり戦闘用サイバー・ウェアではないが、戦闘用の2分の1程度の身体能力との事。レベルで言うと40位か？これ以上強くなることもできなのが十分強い体でかなり満足だわ。他は知識、技術として修理や改造その他生活スキルを入れてくれた事、あとは自分のミスでこの世界に送つて済まないと改めての謝罪、この建物と車の改造以外はこの場ではこれ以上与える事はできないが、他にも施設があるから第二の人生頑張れとの激励だつた。

唯のおっさんに此処までして戴いた感謝の気持ちを胸にいだいて、運転席から降りて近場に在るコンベアーに向かつ。コンベアーの前ではイトガイが体育座りで此方をずっと見ながら座つていた。顔は無いんだがなんか雰囲気で悲しい気持ちっぽいのが解る。そんなに酒が欲しいのかコイツ。

これ以上待たせるのも悪いし、搬出もやつてみたいからさつと酒と取り出すか。つて何が欲しいか聞かないとな。

「おう、イトガイ。飲みたい酒は何なんだ？」

「あア、スピリトウスと無水アルコールの一種ダナ。あとは何か

食いもん在ると最高ダナ

「いや、無水アルコールは酒じやねーよ」

「いいんダヨ。高濃度アルコールが欲しいンダ」

まあ本人が欲しいんなら何も言うまい……BSコンで操作して酒二種を取り出す、つて両方共3個でいいか。コンベアーが動き出してスピリトウスと無水アルコールが出てきたつておい！！スピリトウスは6本で1パックの薄いアルミ製取っ手付き一箱だし、無水アルコールは17リッターPOLYタンクで出てきたぞこれ。

隣からブツブツ呟いてる声が聞こえるので横を向くと、イトガイが「酒が浴びレル…酒が浴びレル」とずっと喋つてやがる……怖えよコイツ！！

出てきた品物は流石に持ち切れないでの車の荷台に入れる事に。食べ物は適当に直ぐ食べれるカツラーメンを2つ生産、予想してたが24個入り一箱が一個だったのでラーメン一箱も荷台に。あとは品目に水もあつたので水を多めに10個生産、それとお湯作成の為生産補助品の設備品目に電熱器があつたので生産。出てきたのは透明のポリタンク10個、それに少し大きい持ち運びはし辛いが電熱器が出てきた。

これで一先ず一階の探索の下準備が出来たので、乗車して車のエンジンを入れて動くか確認。問題は無さそудだし基本的な運転方法は変わらず何よりだ。ついでに電熱器が車についてる電源で作動するか確認して問題が無いので電熱器も荷台に入れ、準備完了。降車してガレージに行き開閉操作調べるがパネルすら無いので開閉

方法が判らん。仕方ないのでコンベアーの前でまだ正気を取り戻していないイトガイの背中を蹴り正気に戻す。

「イトガイ、ガレージの開閉方法教える」

「……ハツ、俺の酒ハ？？」

「このビルの探索が終わったらやるよ。だからガレージ開閉操作教える」

「開閉操作も何も近づいたら登録者搭乗車両は自動で開クゾ」

「？？近づいたけど開かなかつたぞ」

「ガレージは重量感知式ダゾ。人はあっちの扉からダゼ」

イトガイが指さした方向を見るとエレベーター室の横に扉を発見、車に夢中で全く気が付かなかつたよ。まあ今回はイザという時の為に車でいくけど。イトガイと車に乗り込みガレージの前まで移動、前まで行くと自動で開いていった。

ガレージから先は大型駐車場になつていて、やはりヨーロッジンボーグ（MM3）やロボポリス（MM）がウロウロしていたがほつてリフトに向かう。何事も無くリフトに到着して乗つた所でBSコンから又音がした。項目に車用リフト操作が新しく出現。操作していよいよ一階へ。

一階は他のフロアと違い薄暗く余り長居したくない感じだった。周りを見渡すと「一〇一ホール（MM2）」が床や壁から出ているので此處は安全区画だらうと思い降車して少し調べることに。一応シヨットガンを構えつつ調べる。

リフトは部屋の一一番奥にあり、その先の反対側にガレージがあつた、と言つことは此処は車両入口か？ガレージから恐らく外に出れるのだろう。マジックツツツツツたく外に出る気は無いが。他にはリフト近くの右側に扉が在るだけで他に設備は無く、床に壊れた生活品や紙ぐず、鉄パイプや破れた袋などといったゴミが在るだけだった。

イトガイは車から出ることは無く、助手席でガタガタ震えてるダケだった。移動方法といいかなりのビビリ屋なんだろうな。怖がっているのを無理に連れ出すのも悪いし、そのままにして扉の先に向かう。

扉の先は幅1・5m位の通路になつており床や壁からゴーゴンホールが出ていたので安心して通路を進む。少し歩いて通路の半分位の所で黄色と黒のトラテープが通路全面に貼つており、其処から先はゴーゴンホールが一体も出でていない。その先から安全区画じゃなくなるのか……イトガイに居て欲しかつたが仕方ない。

意を決して先へ進み突き当り右側の扉の前へ。ショットガンの弾を確認して扉を開ける。開けたフロアに出た。車庫より少し明るい感じがするな。扉の近くに棚が横になつて置いてある、バリケード

みたいな感じだけど高さ的にカウンターにも見えてどっちなのか判らんな。

開けた所なので他に何が在るか解りやすい。向こう側の壁までの中に両開きの扉って事は入口だな。他は入口の前突き当たりにエレベーターが突き出ている、エレベーターの両横に階段、これしか設備はないのか、地下に比べると何も無いな。

動く物は何も無いのでモンスターは見た感じ居ないが、慎重に進み入口に到着。内開きのドアなので片側だけ開けてみると瓦礫しか見えない。此処から外に出るのは不可能っぽいな。一応締め直すかと思つたら瓦礫で閉まらない、仕方ないので閉めるだけ閉めて放置する。

少し不安になりながらエレベーターに向かうとどこかで音がする……周りを見渡すが何も見当たらない。瓦礫から何かが侵入したのか?もう一回ショットガンの弾込め確認をして、周りを確認するやはり何も見当たらず。かなり不安になりつつエレベーターへ向かう。

エレベーターは扉が開いており、中にカゴが無い状態だった。一応モンスターがエレベーター内に居ないか確認。何も見当たらないがどこからか音がする。入口を確認して何も居ないのを確認、警戒しつつ階段に向かう。階段の前に立ち、後ろから物音がしたので今度は通路扉側を確認するが何も見えない……と、突然後ろ側から聞いたこと無い叫び声が!!

階段だった物に目と口が出てきて襲いかかってきた！…って口
イッはつ！…きやたつラー（ＭＭＺ）か！！

この世最初の戦闘は不意打ちから始まりやがった。間近で見ると
怖すぎる…！

九話目（後書き）

フ H ノミナン (M M 3)

[冥界エクスプレスのドロップ品

武装は M M 3 の超改造品にしました。

副砲全體攻撃で 1500 近くは正にチート品

S O L O M O N 2 ? の ? は ネタが 続けば こ の 先明 らかに。

十話目（前書き）

新職場でいきなり利き腕を怪我してしまい通院してました。
そのせいで片手使用が殆ど出来ず投稿できませんでした。
懇々お気に入り登録をしてくださった方々申し訳ございません。

治つてからはMM2Rをプレイ。

まさかのきやたつラー賞金首化！！

執筆にかなりの影響が出てしまつた……

そしてアクセス1万超にびっくりしました。
さらにMM小説も増えてて嬉しい限りです。

リハビリを兼ねての投稿のため文字数が少ないと思います。

今回かなりのグロ表現があります。
グロ耐性がない人はご注意下さい。

「チクショウ、全然倒れねえ！！」

さやたつラー（M M 2 R）からの攻撃を躊しながら手持ちのショットガンを撃つしていく。しかし此方の攻撃をお構いなしに突っ込んで行き、噛み付き攻撃や体当たり更にはガスや強酸を吐き出してくる。幸いにもガスに関しては耐性があるらしく、吸い込んでも影響が全くない事に気が付いた為そちらは無視出来る。だが当った側から瓦礫や周辺に散らばる「ミ」を溶かしていく強酸や、瓦礫を噛み碎く噛み付き攻撃は食らつたら対応策が何も無い為にかなりの劣勢になっていた。

しかも幾らそこそここの性能を持つサイバーウェアとはいえ、中身は齢40位のオッサン臭漂う一般市民な為に戦闘など当然したことなく、幾らショットガンを撃つてもなかなか思い通りの場所に当たることは無かつた。更には最初にテンパッてしまい、最初の攻撃で弾を撃ち過ぎて残弾数が装填されている5発のみに為つてしまつていた。

「ゲームみたいにショットガンの弾が無限なら良かつたんだがなあ……どうしようも無こよなこりや」

半ば第一の人生の終焉を自覚しつつ、ショットガンから警棒へと手持ちの武器を変更する。接近戦なんて自殺行為にしか感じないが、このまま何もせずに死ぬ気が無いので限界まで生き汚くしてやると思いながら警棒を手に、噛み付いてきたきやたつラーをカウンター気味に殴りかかろうとした。

しかしそんな素人考案の攻撃など当然気が付かれていて……アッサリと攻撃を躊躇され、警棒を持っていた左手の一の腕から手首にかけてを噛み付かれてしまった。しかも噛み付きに成功してから何回も左腕を噛み続けたてきた。

「イツ テエエエエエッテナニ しゃがるダ此のボケエアヤヤガアア
アクソウエエエアアア」

どうやら痛覚が在るらしくかなりの激痛が左腕から伝わり痛みで絶叫してしまう。しかしその時取り外そうとして右手を振り回していたら、偶々きやたつラーの片目に右手が入った。更には訳が解らなく本能のままに動いていたのか、目の中で右手を動かすというグロテスクにも程がある行動を無意識にしてしまっていた。

右手の行動によりきやたつラーも大声で絶叫して、そして左腕から口が外れ互いに叫びながら離れていく。離れた先で自分の左腕の

状態を確認するが、全く動かない上に歯が刺さった所から電気スパークを起こしていた。更には接近戦用の武器だつた警棒も見当たらず、残弾数の少ないショットガンしか武器が無い状態である。只でさえ両手で撃つても当たらないショットガンなのに片腕ではどうじよつもなく完全に対抗手段が無くなってしまっていた。

きやたつラーは離れた先で片手で此方を睨みつけ、また噛み付き攻撃する雰囲気を出していった。そして歯をガチガチ鳴らしながら此方に突っ込んできた。

今度は狙いを頭部に定めたらしく、少し飛びながら噛み付き攻撃をしてきて互いの位置が1m位になつた所でいきなりきやたつラーが爆発した！！

いきなり何が起つたのか判らなかつたが後ろから物音がした為、後ろを振り向いてみると爆発物を矢に括りつけた弓（ダイナマイト弓矢 MM2R）を構えて敵に田掛けて放ちまくる危険物が叫んでいた。

「ママママ待たせたたたナ、おおおお俺の酒の為イリヤ助けて
やるジヨオオオオオ」

ガタガタ震えながら、吃りつつ嘔みまくつで全くカツコつかない
ムキムキの危険物が其処に居た。

動機が不純すぎるがビビりまくつでも助けに来てくれたのには心
から感謝するぜイトガイ！！

十話目（後書き）

噛まれた時の絶叫は実際に自分が怪我した時の映像を見た時に最初に叫んだ物です。あの叫びを自分で聞いて笑つてしまつた為今回の叫び声にしました。

きやたつラー（MM2R）

今回発売されたMM2Rで賞金首にまさかの昇格。

噛み付きに会心の一発が多い

更に酸や睡眠、増殖までする為MM2の感覚で行くと全滅の可能性が在る。

実際作者は睡眠から噛み付きコンボで全滅しました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1350y/>

カオスにも程がある大破壊後

2012年1月14日17時01分発行